

2024

2

UNZEN
Destination
Marketing
Report

2024
February

雲仙市観光マーケティングレポート

Unzen City Tourism Marketing Report

2024年2月号

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service

雲仙市観光 マーケティングレポートとは

データに基づく観光マーケティングの基盤として。

2022年4月に開局した一般社団法人 雲仙観光局では、市場環境や顧客ニーズを的確に捉え、費用対効果の高い事業を展開するため、“データに基づく観光マーケティング”を運営の柱に位置づけています。

「雲仙市観光マーケティングレポート」は、その一環として、国内の多様なビックデータから得られる雲仙市の観光実態や各種調査結果、また、雲仙観光局の取組みや提案を、皆さまにタイムリーにお届けするものです。

雲仙市の観光の“今”を知っていただきながら、事業所の経営戦略の立案をはじめ、教育機関や地域コミュニティなど、様々な場面で活用して頂くことを願っています。

INDEX

- ・雲仙市への訪問客数
- ・延べ宿泊客数(会員専用)
- ・日別宿泊者数(会員専用)
- ・特集「FindUNZEN」のアナリティクス分析
- ・特集「台湾市場と雲仙の素材」
- ・活動報告

1月の雲仙市への訪問客数 140,874人

2024年1月の訪問客数は14万人。先月対比で日帰り・宿泊は増加しているが宿泊は減少。前年同月比で見るとほぼ同数だが、やや日帰りが減り宿泊が増。特に目立つのは日帰り客のコロナ前からの減少傾向。温泉や霧氷、食において冬の強みをPRしていく必要がある

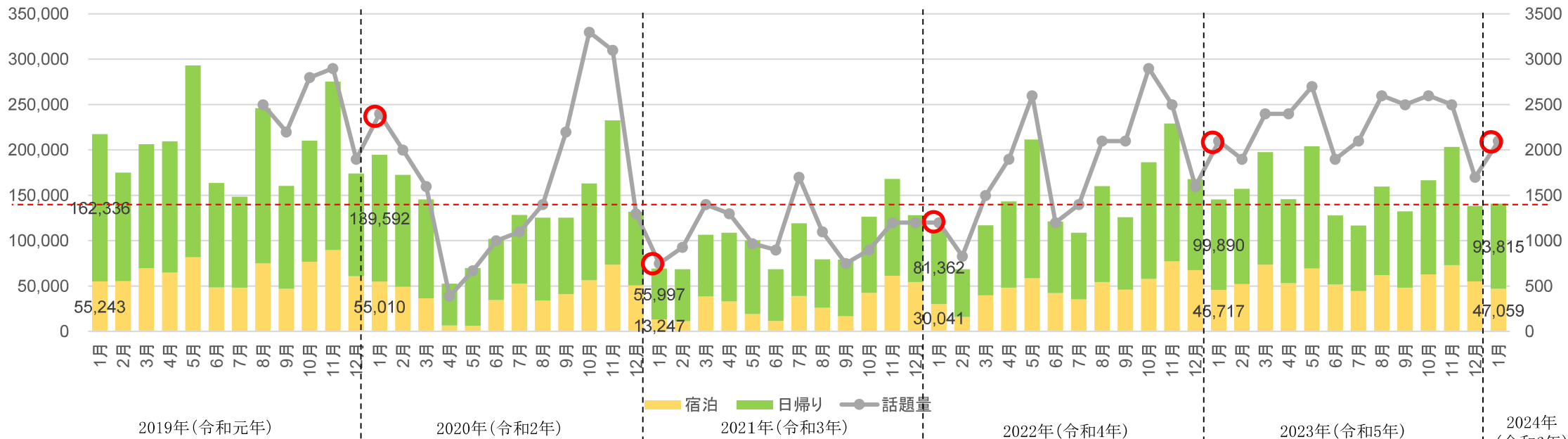
訪問客数・検索ボリューム推移

宿泊・日帰り(人)

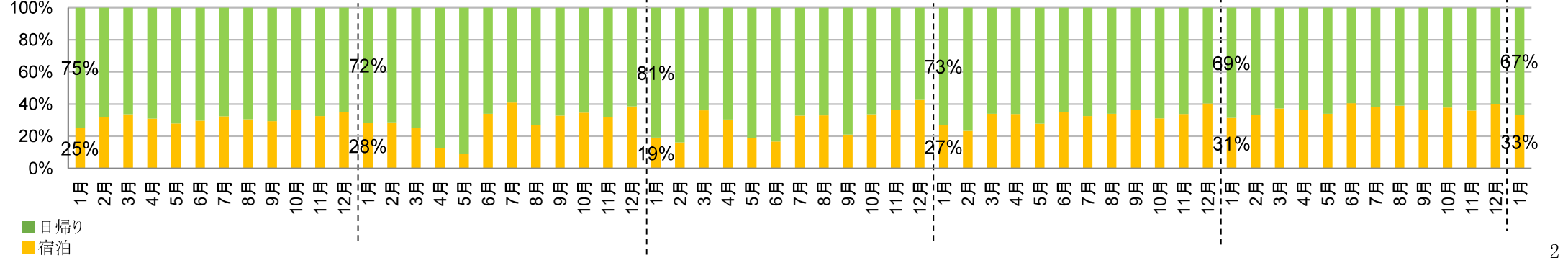
検索ボリューム(人)

	訪問客数			検索ボリューム
	日帰り	宿泊※		
先月比	102%	85%	124%	
前年同月比(2022年比)	97%	103%	100%	
コロナ前同月比(2019年比)	72%	86%	88%	

※延べ宿泊滞在数(例1名が2泊3日の場合は3名とカウント)



日帰り・宿泊構成比



雲仙灯りの花ぼうろ 2月3日～3月2日 開催

雲仙の冬の風物詩、花ぼうろ（霧氷）。「雲仙灯りの花ぼうろ」では、冬の晴れた朝に白く輝く「花ぼうろ」をイメージしたイルミネーションが、期間中温泉街をきらきらと彩っています。

そのほかにも豪華賞品が当たるまちあるき企画やキッチンカーの出店、吹奏楽の演奏など子どもから大人まで楽しめるイベントを企画。期間中の土曜日に開催される「花ぼうろ花火の宴」では、花火が冬の夜空を彩り、観光客の皆様にご好評をいただきました。

今年は天候の関係で初回の花火打ち上げが中止となったため、期間を延期し3/2までの開催となっております。



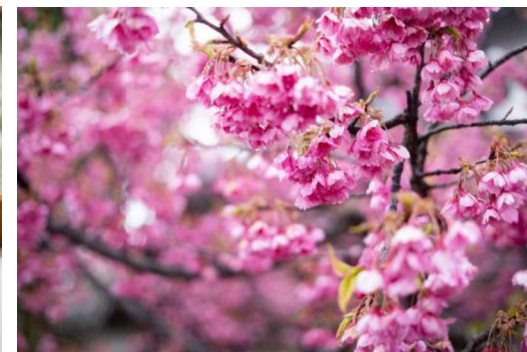
国見の新しいコンテンツを制作中！

雲仙市国見町の神代小路は、平成17年7月に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された9.8ヘクタールの住宅地。翌年の平成18年には、平成18年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」を受賞しました。緋寒桜で知られる鍋島邸をはじめ、格式高い武家屋敷の永松邸などが点在し、江戸時代の区割りを現代に残す風情あるエリアです。

そんな国見の魅力をより伝えていく為に、すでに国見にあるコンテンツの磨き上げや新たな体験コンテンツの制作をおこなっています。

【制作予定のコンテンツ】

- ◇神代小路のガイドツアー
- ◇陶芸・木工体験
- ◇火山の恵みを堪能できるサラダバー 等



国見コンテンツの
制作過程は
こちらから



関係人口 東京イベント「Find UNZEN」 Special Lunch with Massif

東京都目黒区にあるカフェレストラン「Massif(マッシーフ)」にて、雲仙市の食を存分に味わっていただくためのランチイベントを開催いたしました。池尻大橋の複合施設「大橋会館」の1階に、2023年9月にオープンしたばかりのMassif。自治体とのタイアップイベントは雲仙市が初！でしたが快くお引き受けいただきました。

まだまだ関東圏の方々にとっては雲仙＝普賢岳噴火、温泉、といった印象が強く根付いていますが、決してそれだけではないということ。「食」を通して知っていただくために、このイベントを開催しました。現在、雲仙市の食の中でも一際メディア露出が増えている「伝統野菜」。雲仙の在来・固有種の野菜や、長年雲仙の地で栽培され続け、その土地に馴染んだ固定種の野菜たちのことです。また、雲仙は火山性の土壌のため、ミネラルも豊富で肥沃なことから、有機農業に適した風土であることも、この土地の野菜が美味しいことの証でもあります。今回は雲仙の野菜をメインに、全国にファンを持つ「雲仙ハム」、海の幸「渡り蟹」といった雲仙ならではの食材をお楽しみいただけるランチコースをご用意し、雑誌編集者、フードコーディネーター等（約10社程度）をご招待しました。Massifの日本の食材を最大限に活かしながら、ヨーロッパやアメリカのテイストとうまく融合させたメニューと、雲仙の豊かな食を掛け合わせた至極のイベントとなりました。参加された方々も、雲仙の食の豊かさ、美味しさに感激しており、雲仙に行ってみようといったお声を多数いただきました。また、観光局の活動内容、雲仙での暮らし、人の温かさなど、多くの魅力をお伝えできたと感じております。一部のメニューは3/15までご提供いただいておりますので、東京に行かれた際はぜひご賞味ください。今後もこのような機会を定期的に設け、より多くの方々に雲仙をPRしていきます。



会場 大橋会館1階Massif



雲仙ハムの包みパスタ・バターミルク出汁



あかね豚のロース、燻製ポテト、辛子菜

